

駒沢女子大学・駒沢女子短期大学研究者行動規範

この行動規範は、駒沢女子大学、駒沢女子短期大学（以下「本学」という。）において研究活動を行う全ての者（以下「研究者」という。）を対象として、学術研究に信頼性及び公平性を確保するとともに、研究活動を行う機関としての社会的な責任を果たすことを目的に定める。

1. 学術研究における不正行為の防止等

研究者は、自らの研究活動の立案、計画、申請、実施、報告等の経過において、研究データ、資料等の管理、保存等に関し、厳密な取扱いを徹底して、捏造、改ざん、盗用等の不正行為を行わないことはもとより、不正行為の発生を未然に防止するよう努めなければならない。

2. 研究費の適正使用

研究者は、研究費の源泉が、学費のほか、国、地方公共団体等から交付される補助金、助成金及び企業等から負託されたものであることを常に認識して、研究費ごとに定められた条件、ルール等を遵守し、その適正使用に努めなければならない。

3. 人権の尊重及び個人情報の保護

研究者は、本学における全ての研究活動において人権を尊重するとともに、研究過程において入手した個人情報の保護に努めなければならない。

4. 研究成果の公開・説明

研究者は、上記3に反しない範囲で、研究成果を積極的に公開するとともに、研究活動の透明性を確保するため、当該研究の学術的、社会的意義について説明する義務を負う。

5. 学術研究の適切なマネジメント

研究者は、研究データ、資料等の適切な取扱い及び管理、保存について責任を有するとともに、円滑な研究の遂行に努めなければならない。